

行政サービスのコスト分析と 行財政改革の方向

神奈川大学人間科学部特任教授
南 学

民間委託は安くなるか？

表2：官民コスト比較

	直営事業	民間委託	民間／直営
可燃ごみ収集(1トン)	17,291円	8,252円	46.0
学校給食(1食)	431円	238円	55.2
電話交換(年間)	12,384千円	5,246千円	42.4
守衛(年間)	18,535千円	6,547千円	35.3
ホームヘルパー(1時間)	4,224円	2,852円	67.5
在宅入浴サービス(1回)	28,429円	14,905円	52.4
老人福祉センター(年間)	72,716千円	55,697千円	76.6
体育・スポーツ施設(年間)	42,918千円	20,853千円	48.6
文化施設(年間)	390,108千円	173,088千円	44.4

(資料：地方自治経営学会 平成7年6月)(注1)

安くなる理由

- 1 働きの違い。
民間は公立(直営)の二倍以上よく働いている。
- 2 継続して仕事がない業務にフルタイムの正規職員が当てられている。
- 3 単純労働。公務員でなくてもできる仕事に、給与の高い正規の公務員が当てられている。

本当なのか？

民間委託が高くなるケースも

- 契約、管理監督、支払いなどの業務が増える
学校給食など
- 専門的業務は民間も人件費が高く、チェックできない
システム開発・メンテナンス
- カルテルを結ばれたら対抗できない
ゴミ収集・運搬

図書館のコスト試算の結果

- 入館, 閲覧 (開館準備) 277円/人
- 貸し出し (返本後の整理) 176円/冊
- 予約受付 566円/冊
- 返本督促 1844円/件
- レファレンス (簡易) 913円/件
- レファレンス (複雑) 5319円/件
- 企画 (お話し会等) 14912円/人



A B Cによる活動毎のコスト把握

ex.住民票交付の場合（概念図）

活動毎のコスト表

従来の事業費
区分

人件費	1000
償却費	100
消耗品費	300
水光熱費	100
計	1500

受付	検索	印刷	交付
250	500	100	150
20	50	10	20
50	30	200	20
10	30	50	10
330	610	360	200

業務プロセス

活動コスト



「行政改革」の本丸、制度改革

✿ 介護保険制度（「措置行政」から「契約制」）

✿ 指定管理者制度（目的・期間設定・評価）

「公共サービス＝行政サービス」
概念の終焉

介護保険・指定管理者の背景

- 単なる民間委託（経費削減）ではない
- 官（公）と民との区分、そのものの変化
- 民間資本の拡充と資金調達の多様化
- サービス経済化によるノウハウ蓄積
- 地域住民のニーズの多様化、成熟化

行政機関の役割

制度設計

基準作成

制度の維持管理

モニタリング設計

民間の役割

サービス事業展開

コンプライアンス

質の維持・向上

モニタリング作業

公務員制度は身分制度

給与表適用の公務員の仕事として

定型・現業業務 → 単純外部委託

高度な専門業務 → 事業委託

公務員の専門性が問われる